

アフリカの人々の 生活の質の向上



AFRICAN DEVELOPMENT BANK GROUP



生活の質



Dr. Akinwumi A. Adesina
アキンウミ・アデシナ
アフリカ開発銀行グループ総裁

序文

アフリカの人口は2030年までに16億人を超える可能性があり、その約70%が就業可能な人々です。若年人口も急速に増加しており、2050年までに8億3,000万人以上に倍増すると予測されます。アフリカがこの人口ボーナスの恩恵を最大限に享受するためには、アフリカの若者と女性が職を得られるようにする必要があります。就業に役立つスキルを身につけ、近代化と工業化が進むアフリカにおいて必要となる様々な職務、責任及び役割を担うことができるように訓練を受ける必要があります。

しかし、スキルを身につけ、訓練を受けた人々が潜在能力を最大限に発揮するためには、社会サービス及び制度の恩恵を受けられるようにすることも必要です。

質の高いサービス、特に教育、生涯学習が必要であり、自分自身や家族が医療サービスを利用できるようにする必要があります。これらはインフラ投資を持続し、デジタル経済や第4次産業革命のその他の要素の発展に必要なスキルを伸ばすために、各国及び各地域において不可欠な要件です。

電気・機械工学、配管、タイル貼り、屋根ふき、大工仕事、調理、ファッションデザイン、縫製・仕立、様々なコミュニティ活動、興味・趣味等の他の多くの応用スキルも、家庭や余暇、職場における日常生活の質の向上に直結しており、極めて重要です。

当行は30年以上にわたり人間開発にとっての優先事項を支援してきました。このアプローチの特徴は、コストに見合うサービスの提供、雇用創出、近代化及びスキル開発を通じた高い競争力と高い生産性です。また、これはインクルーシブ（包摂的）な成長に資する規制・政策環境を促進し、何よりもコミュニティや各国におけるグッド・ガバナンス、平和及び安定を促進してきました。

持続可能な雇用と適切な賃金水準は、アフリカの人々の生活の質を保証するために不可欠ですが、それだけでは十分ではありません。安定的で健康的かつ平和で教育水準の高い社会とコミュニティこそが、当行の最もインクルーシブなHigh 5を保証し、私たちの望む、アフリカの民間セクター主導の経済変革の基盤を提供するものであると考えます。

¹ <https://qz.com/africa/1016791/employment-in-africa-2017-10/>
² United Nations, (2017) World Population Prospects: The 2017 Revision



アフリカの変革のための 人的資本

はじめに

質の高い医療、教育、仕事を得ることができれば、人は成長し、潜在能力を最大限に発揮することができます。しかし、これは簡単なことではありません。アフリカ大陸では20年にわたる堅調な経済成長にもかかわらず、貧困、不平等、社会的排除が依然として残っています。成長を活用できなければ、アフリカの潜在能力を損ない、アフリカ全体の意欲を低下させます。アフリカは決意と勇気をもって上記の課題を乗り越えなければなりません。

アフリカの今後10年間の最大の資産となるのは、急速に増加する人的資本の宝庫を活用する能力です。現在、アフリカの全人口10億人のうち43%は15歳未満です。2050年までに、アフリカ大陸の23億人の人口の大半が若者になると予想されています。

アフリカの人々（アフリカの「人的資本」）は、正にアフリカ開発銀行のインクルーシブな成長とグリーン成長アジェンダの中心にあり、アフリカにおける教育、雇用、スキル開発、保健、水、衛生、栄養、若者の起業に関するプロジェクト及びプログラムを含むHigh 5アジェンダを支える血脈を構成しています。

アフリカの人的資本は、当行の最もインクルーシブなHigh 5の中の5番目の「生活の質の向上」で具体的に言及されています。これによって、当行がアフリカで実施している大規模で多様な人的資本プロジェクトへの投資が結びつき、アフリカの人的資源とその可能性は、天然資源や農作物と同程度（もしくはそれ以上）に豊かで価値があるという当行の主張を明確に示しています。

当行のビジョン、ミッション、 アプローチ

人的資本開発戦略 2014 - 2018 は、重点イニシアティブであるアフリカの若年雇用イニシアティブ (JfYA) を含む各プログラム及びプロジェクト、並びにこの分野で必要とされるすべてのパートナーシップに係る運用枠組みです。

- 当行は、アフリカがインクルーシブでグリーンな成長を加速するための人的資本を確保する上で中心的な役割を果たします。
- 当行は、アフリカ全体の人的資本、若者及びスキル開発の主要分野における課題解決をリードします。
- 当行は、人材及び社会開発分野向けの資源を活用するための戦略的パートナーシップを促進します。

「人的資本開発戦略 (2014 - 2018)」に示されているように、当行の目標は、スキルを高め、テクノロジーを促進することにより、10 億人のアフリカ人々の潜在能力を活用して、より良い仕事を創出し、平等な機会を保証し、労働力の競争力を高めることです。スキルとテクノロジーに重点をおいていますが、当行のビジョンは、インクルーシブな成長に不可欠な、効果的サービス提供とインクルーシブな金融・社会システムという2つの人的資本の開発を実現する要素を支えています。

10 億の人々 - 10 億の機会 アフリカの人的資本の促進

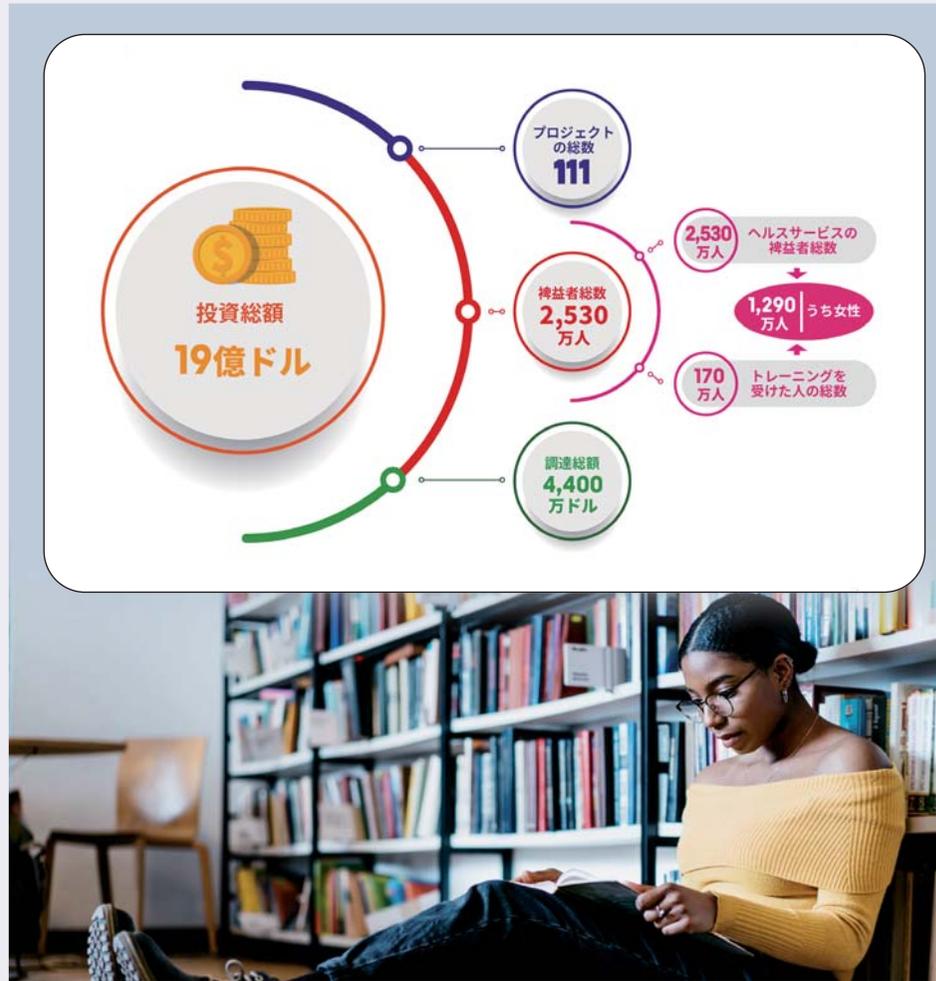
アフリカ開発銀行は、アフリカの人々の生活の質を向上させるための取り組みを主導するユニークな提案を行っています。これはアフリカ全域を対象としていますが、政策、規制、投資において影響力のあるネットワークでもあります。教育、スキル開発、保健、栄養、社会保障の各セクターが相互にリンクし、社会的側面及び経済的側面の両方で人的資本の開発を行う統合的アプローチをとっています。これはアフリカが人口動態変化による配当から恩恵を得る可能性を高める人的資本開発のための包括的なソリューション及びアフリカ地域の加盟国と地域経済共同体を支援するための強力な専門的な金融の知見から構成されるものです。

「人的資本とは、個人や集団によるスキル、才能、知識、経験の獲得と展開及び、それらが組織、経済、社会に対して持つ価値である。」(世界経済フォーラム)



主な成果

数字で見る人的資本開発



質の高い生活とはどのようなもので、アフリカ開発銀行は2018年に人的資本開発戦略にどのような貢献をしましたか？

2018年、当行のプロジェクトは120万人に雇用を創出し、820万人の給水及び衛生設備へのアクセスを改善しました。

増加するアフリカの人口に生産的な雇用を提供する

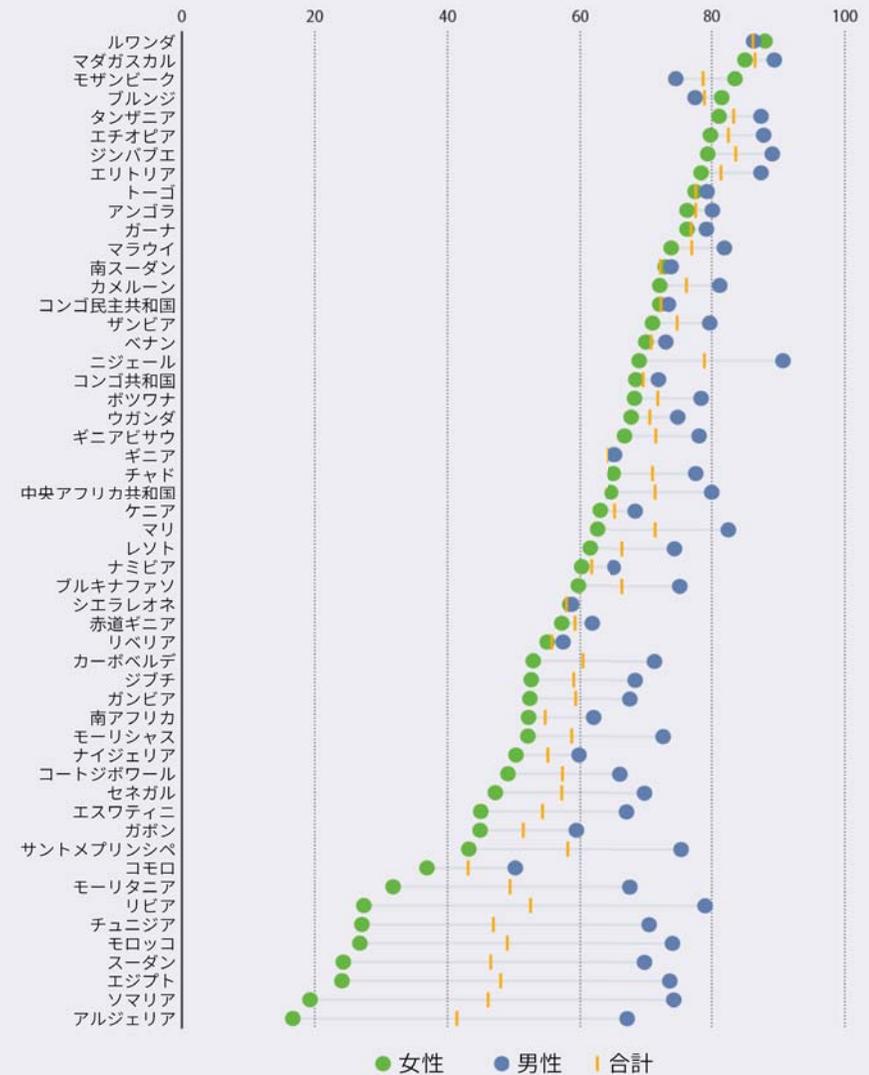
アフリカの労働年齢人口は急速に増加しており、適切な仕事を求める圧力が強まっています。2018年、人口全体の失業率が8.3%だったのに対し、若年失業率は14%、若い女性の失業率は15%でした。女性は就業に際して更なる障壁に直面しており、男性よりも労働参加率は低い状況です。それでも、ルワンダ、マダガスカル、モザンビーク等の国では、女性の労働参加に大きな前進がみられました。

若年層、特に女性は、非公式（インフォーマル）労働に就く傾向があります。アフリカでは世界で最もインフォーマル・セクターの比率が高く、非農業労働の約72%がインフォーマルであると推計されています。インフォーマル・セクターでの雇用は不安定で、低賃金かつ生産性が低く、貧困撲滅をより困難にしているのが現実です。

ほとんどの国において、女性の労働参加率は男性よりも低くなっています。

男女別労働参加率

%、2017年



出所：国際労働機関（ILO）

若者の就労支援のためのイニシアティブ及びプロジェクト

「アフリカの若年雇用戦略（2016 - 2025年）」の下で、当行は雇用と起業への支援を強化しています。今後10年間で2,500万の雇用を創出し、5,000万人の若者に適切なスキルを身に付けさせることを目指しています。この戦略に資するプログラムに資金を提供し、アフリカの若者の機会を拡大するためのパートナーシップを構築しています。

当行の「雇用のためのコーディング(Coding for Employment)プログラム」では、2020年までに130カ所に中核的研究拠点を設立し、23万4,000人の若者に研修を実施する予定です。ロックフェラー財団、マイクロソフト、フェイスブック、サファリコムとの連携により、女性や若者に需要主導型のICT研修を実施します。また、アフリカ数理科学研究所と協力し、アフリカにおける産業主導の研究機関設立にも取り組んでいます。フォード財団とのパートナーシップでは、ウガンダとケニアで石油・ガス部門における女性・若者とのビジネス連携を向上させるために、中小企業100社に研修を提供する予定です。

当行はアフリカ全土にわたり、スキルを持つ人材の還流を促しつつ、農業が若者にとって、より魅力的になるよう取り組んでいます。2016年以来、15カ国以上で農業分野の若手起業家を支援するために8億ドル以上を投資しています。今後10年間で、農業分野の起業支援に年間15億ドル以上を投入する予定です。

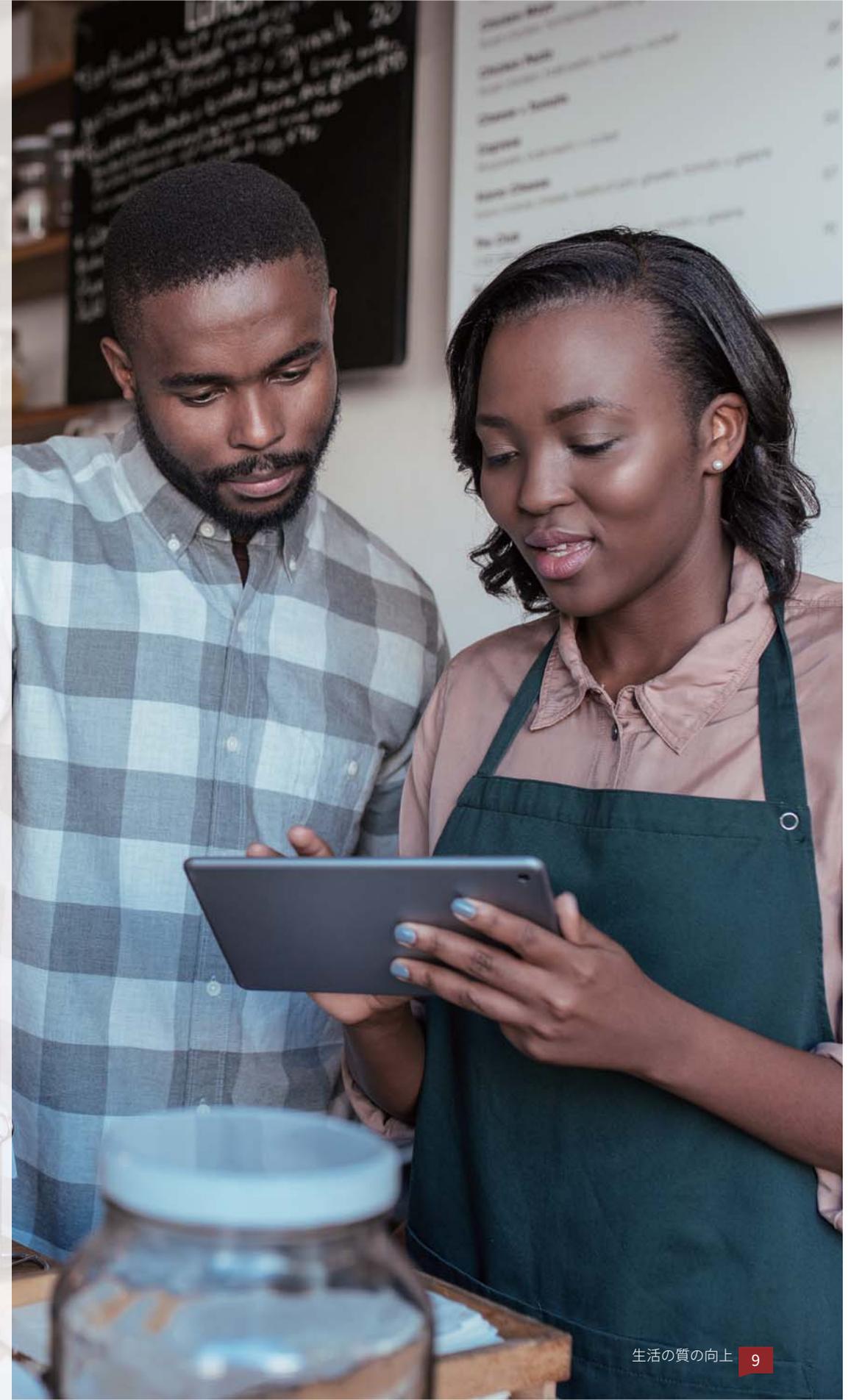
雇用及びサービスへのアクセスを提供する際の当行のインパクト

当行の提供するプロジェクトは、アフリカ全土で新しい雇用機会を創出し、貧困を削減しています。2018年に我々は、目標を上回る120万の直接雇用を創出し、その半分以上が女性向けでした。また、新規の雇用には、当行の事業から間接的に創出されたり、または誘発されるものもあります。

ルワンダのキガリで開催されたアフリカ・イノベーション・サミットで、我々はアフリカの「若年雇用イノベーション・ラボ」を立ち上げました。その目的はスキル及び学習の促進と、アフリカで極めて有望なビジネスを立ち上げることを支援する各組織間の連携を構築することです。「民間セクター支援基金」との連携により、Eプラットフォームが、インキュベーター、アクセラレーター、起業家のためにアフリカ大陸規模のワン・ストップ・マーケットプレイスとして試験的に運用されています。

当行はエジプトにおいて、第3回科学技術イノベーションに関するアフリカフォーラムを主催しました。これは政策対話であり、その結果、「アフリカ教育基金」の必要性を強調する閣僚宣言が採択されました。また、我々は西アフリカの高等教育を改善し、域内統合を強化するような調和システムを促進するための支援を提供しました。

保健・衛生セクター向けの当行の支援は触媒の役割を果たしています。西アフリカでは、医療従事者の研修と医療施設の建設に対する当行の支援が、エボラ出血熱の感染拡大を阻止し、公衆衛生制度の強化に貢献しました。ウガンダでは、カンパラのカウエンペ地区の公衆衛生設備の改善により、腸チフス、コレラ及び下痢の発生率が減少し、16万5,000人以上が裨益しました。ガーナでは、8万9,200人が都市部のスラム・コミュニティにおける衛生施設と廃棄物管理を改善するプロジェクトの恩恵を受けました。





情報通信技術（ICT）、人工知能、ロボティクス、機械学習等のテクノロジーに伴う「第四次産業革命」（4IR）は、アフリカに機会と課題の両方をもたらします。第四次産業革命はアフリカの発展を加速し、アフリカの若者による起業の潜在力に道を開く可能性を持っています。第四次産業革命の技術は生産性を向上させ、農業、サービス業、製造業、インフラなどの産業における変革を支援することが可能です。ただし、第四次産業革命は仕事の本質を根本的に変え、伝統的な製造業主導の成長は成り立ちにくくなっていくでしょう。第四次産業革命に伴う機会を活かせるかどうかは、アフリカがこれを受け入れる準備ができているのか、そして科学技術分野の関連スキルを活用できるかどうかにかかっています。

教育

教育の諸制度は、変化しつつあるスキル要件に遅れないようについていく必要があります。スキル不足及びスキルのミスマッチは、アフリカのビジネスの大きな制約となっています。多くの大学卒業生は、雇用市場のニーズに合わないスキルを身に付けています。アフリカの大学卒業生のうち、科学・技術・工学・数学（STEM）の学位を取得しているのはわずか2%です。STEMスキルは第四次産業革命の世界では必須条件です。またアフリカでは、経済変革を促進するセクターに従事する科学者はほとんどいません。アフリカの教育制度は、効率性と効果を高めるために、国内資金の調達や国民参加などを含む革新的な資金調達メカニズムを通じた適切な支援を必要としています。アフリカが2030年までに教育に関する持続可能な開発目標（SDGs）を達成するには、400億ドルの追加的資金が必要になると推計されています。

2018年、アフリカ開発銀行のプロジェクトにより、27万人が教育へのアクセス向上の恩恵を受け、うち12万人は女性でした。さらにアフリカ各地で技術・職業訓練を実施しました。また、アフリカ開発銀行のプロジェクトを通じて訓練を

受けた17万8,000人のうち、8万9,000人が女性でした。

アフリカ全体の教育をさらに促進し、資金ギャップを解消するために、当行は「アフリカ教育基金（AEF）」の設置を主導しました。2018年にはアフリカ教育開発協会と協力し、同基金の実現可能性調査を実施しました。この調査により、「アフリカ教育基金」は実現可能であり、アフリカ各国の政府や教育関係者も大きな関心を示していることが分かりました。インクルーシブな成長と持続可能な開発を支えるために、教育制度を活性化し変革することが、アフリカ各国の閣僚や開発パートナーの重要なコミットメントとなっています。

アフリカ開発銀行はアフリカ22カ国における取り組みを通じて、教育と訓練を提供するためにICTを利用することを支援しました。例えば、「アフリカン・バーチャル・ユニバーシティ」プロジェクトでは、アフリカ各国の遠隔教育Eラーニングセンターで2万3,095人の学生が学んでいます。2018年、当行の「雇用のためのコーディング（Coding for Employment）」プログラムの研修に、5カ国から約500人の若者が参加しました。マラウイでは当行のプロジェクトが、雇用創出及び大学卒業生の雇用可能性を高めるために、科学・技術・工業スキルの質及び関連性の向上に貢献しています。赤道ギニアでは、中堅及び上級マネージャーを対象とした革新的な技術・職業訓練を支援しました。

移住

移住はアフリカにおいてはスキルの活用に関する直接の影響を与えています。紛争を原因とする移住に加え、若い専門技能を持つ人々がよりよい仕事や質の高い生活を求めて、他のアフリカ諸国や域外へと移住しています。これらの原因となっているのが貧困です。しかし、適切な政策を実施することにより、域内の移住が貧困削減に貢献できる可能性があります。

基本的サービスへのアクセス

基本的サービスへのアクセスは生活の質に不可欠です。しかし、アフリカにおいて安全な飲料水及び衛生設備へのアクセスは、各国間及び国内でも大きな格差があります。安全に管理された飲料水にアクセスできるのは人口のわずか72%、安全に管理された衛生設備にアクセスできるのは人口のわずか40%に過ぎません。全体として、北アフリカはアフリカの他の地域に比べてアクセス比率が高くなっています。安全な飲料水にアクセスできる比率は、モーリシャスでは人口の100%ですがエリトリアでは人口の19%であり、国によって大きな差がみられます。

都市部と農村部では依然としてアクセス比率に大きな格差があります。気候変動による干ばつや洪水の発生が増加しており、基本的なサービスの提供に更なる課題を突きつけています。アフリカにおいて誰もがサービスにアクセスできるようにするためには、天然資源のガバナンス改革とインフラ投資が必要です。全ての人々に水と衛生設備へのアクセスを確保するというSDG目標を達成するためには、年間130億ドルが必要となると推計されています。

また、当行は基本的サービスへのアクセスを改善することを目的とした一連のプロジェクトも実施しています。農村部及び都市部の両方の給水・公衆衛生スキームに資金を提供しています。2018年には、目標を上回る820万人に給水及び公衆衛生への新規アクセスを提供、またはアクセスを改善し、うち半数が女性でした。

アフリカ開発銀行のプロジェクトはアフリカ各地で、安全な飲料水と衛生設備へのアクセスを改善するために、インフラ及び制度構築を支援しました。ガンビアでは新規の給水システム及び衛生インフラの建設により、6万5,000人（農村部では2万人）の給水及び衛生設備へのアクセスを改善しました。また、このプロジェクトでは広範な公衆衛生教育キャンペーン及び制度的能力構築も実施しました。



アフリカ開発銀行はフランス開発庁 (AFD) と協力し、ニジェールのドソ州及びティラベリ州において、26万5,000人に、改良された給水・衛生設備を提供しました。これには266カ所の井戸及び4,000カ所以上の簡易トイレの建設が含まれています。このプロジェクトはまた、新たな飲料水ネットワーク・システムを確立し、建設労働者、女性の訪問サービス従事者及び教師に研修を実施しました。

アフリカ開発銀行はまた、緊急事態への対応も支援しています。コートジボワールでは、貯水池や公衆トイレ、優先度の高い洪水対策インフラの建設・改修及び固形廃棄物の管理・処理に資金を提供することで洪水への対策を講じました。スーダンでは、復興と平和への支援として、75万人以上の水へのアクセスを改善しました。アフリカ開発銀行のプロジェクトの多くには、能力構築、投資計画の作成、公衆衛生の意識向上研修が含まれています。

社会セクターのイニシアティブとプロジェクト

アフリカ開発銀行は引き続き、より良い保健サービスの実現と社会的サービスの質の向上のためのイニシアティブとプロジェクトを支援していきます。我々は信頼できるパートナーとしての当行の立場と実行力を活用し、セクターを超えた連携を強化し、給水及び公衆衛生へのアクセス不足という課題に対処するために、スマート技術を活用していきます。

特に都市部の貧困層の公衆衛生の課題に対処するために、アフリカ水基金 (AWF) とともに、ビル&メリンダ・ゲイツ財団との1,450万ドル相当の融資契約に署名しました。公衆衛生バリューチェーンに沿った追加投資のプロジェクトの準備に加え、公衆衛生への投資を強化するために、「アフリカ都市部公衆衛生投資基金 (Africa Urban Sanitation Investment Fund)」設立の実現可能性調査を実施します。

アフリカ開発銀行はユニバーサル・カバレッジを達成するために、保健セクターへの投資を増加するよう呼びかけています。アフリカ開発銀行の「マルチセクター栄養行動計画 (2018年 - 2025年)」は、2025年までにアフリカの発育不全児童の数を40%減少させることを目指しています。給水、公衆衛生及び保健衛生 (WaSH) セクターに「栄養スマートな (nutrition smart)」投資を行います。

新規承認プロジェクト

2018年、モロッコにおける若者と女性の労働市場へのアクセス改善のために9,600万ドルを承認しました。これには、雇用の質の改善及び職業スキル訓練センターの設立が含まれます。セネガルでは、農業サプライチェーンの支援及びエネルギー、水、輸送インフラへの投資を提供し、その受益者は300万人と推計されます。マラウイでは、約30万人に対し、雇用と生活の向上のために1,500万ドルの無償資金を提供しています。

コンゴ民主共和国では、アフリカ開発銀行による8,400万ドルの支援は、責任あるコバルト鉱石サプライチェーンの構築に貢献し、6,250人が農業に復帰することを支援します。このプロジェクトはさらに、学校教育制度から排除され、社会的疎外の恐れがあり、搾取に対し脆弱で、武力紛争にさらされている子供たちにも支援の手を差し伸べます。

給水・衛生セクターにおいて、5年間で10都市を対象とする「ウガンダ戦略的都市給水・衛生プロジェクト」に6,200万ドルの融資を提供します。このプロジェクトでは、39万人が持続可能かつ安全な水・衛生設備へのアクセスを確保できるよう政府を支援し、人々の健康と生産性を高めることを目指します。ガボンでは、アフリカ開発銀行の8,600万ドルの支援がグラン・リーブルビルの飲料水不足を緩和し、92万人がその恩恵を受けます。エスワティニでは、6万7,000人以上の生活の質を向上させるため、給水・衛生サービスに対する5,200万ドルの融資を承認しました。

当行は、欧州投資銀行 (EIB) 及びOPEC 国際開発基金と協力し、ルワンダにおける「持続可能な給水・衛生プログラム」に1億3,000万ドルの追加融資を提供し、改善された給水サービスに150万人がアクセスできるよう支援します。チュニジアでは、人口1万人未満の都市における衛生システムの改善及び若者への雇用提供を支援するために8,800万ドルを提供します。モロッコでは水処理への投資資金を調達するために1億3,200万ドルの融資を承認し、250万人の飲料水供給を改善します。

ケニアでは、アフリカ開発銀行の2億6,700万ドルの融資により、スウェイクダムの建設工事の完了を支援します。このダムの貯水量は6億8,100万立方メートルで、発電、灌漑及び生活用水として利用される予定です。また、当行はナイロビ川流域の下水の改善に7,100万ドルを共同投資しており、その受益者は50万人と推定されます。

エチオピアでは、基本的サービスの提供における透明性とアカウントビリティ (説明責任) の強化及びサービス提供における市民の関与の拡大のため、1億2,300万ドルの無償資金を承認しました。「アフリカ若年層のための雇用戦略」の下、アフリカ開発銀行は今後もアフリカの若者が仕事や企業で成功するために必要なスキルを身につけることができるよう支援を続けます。また、全ての人が給水・衛生サービスにアクセスできるようにするための取り組みも拡大していきます。アフリカ開発銀行の戦略と投資が両輪となり、数百万人の人々が職に就き、生活を向上させ、貧困を削減することが可能となります。

実施中の 人的資本開発

人的資本とインフラ

トーゴ

状態：完了（2015 - 2017年）

当行による貢献：98万8,000ドル
（「アフリカ民間セクター支援基金」から
81万7,000ドル、「アフリカ開発基金」
から17万1,000ドル）

カラ及びロメ市場の再建と事業者 支援プロジェクト

2013年1月、ロメの中央市場の中央ビル及び同国北部のカラ市場が火災により焼失しました。火災後、政府は被害を査定し、解決策を提案しました。入手した情報によると、3,106人（うち約90%が女性）が影響を受けました。内訳は、ロメで2,225人、カラで881人でした。このプロジェクトは、火災で破壊されたロメとカラの市場を再建し、近代化することを目的としています。

成果：

- ロメ及びカラの市場で取引を行う2,500人の事業者たちが、正式な事業認可の取得及び保険加入の必要性を認識。
- 若い大卒者のために64の雇用創出。
- 40人の女性起業家に事業を成長させる方法に関するトレーニングを供与。
- 20人のマイクロファイナンス・クレジット・オフィサーに、SMEリスク評価、銀行リスク管理、SME向け金融商品の設計、及びSME向け融資におけるジェンダー主流化に関するトレーニングを供与。
- 20の女性起業家協会に協会関連の問題及び会員サービスの改善方法についてトレーニングを供与。

人的資本と農業

セネガル

状態：継続中（2018 - 2022年）

当行による貢献：総費用1億6,200万ドルのうち6,000万ドル

緊急コミュニティ開発プログラム 支援プロジェクト

村落住民の基本的社会サービスへのアクセス改善を目指す政府の戦略、「セネガル新興計画」及び「緊急コミュニティ開発プログラム」。フェーズ1は完了し、フェーズ2を今後4年間で実施予定。国内の複数の地域を対象とし、300万人が裨益します。脆弱な住民が主な受益者であり、特に飲料水、農村の電化、衛生インフラへのアクセスの改善が期待されます。農業活動の発展により、貧困率を67%から54%に、子供の死亡率を51%から25%に、慢性栄養失調率を21%から8%に低減することに貢献します。

期待される成果：プロジェクトの終了までに、

- 109の農業社会と109の灌漑設備を含む農地の創出（5 - 10ヘクタール）。
- 105の井戸と飲料水供給インフラ構築。
- 女性と若者向けの799台の加工用機械の購入。
- 710キロメートルの農道と76カ所の太陽光発電施設の建設。
- 1,023キロメートルの中低電圧ネットワークと190カ所のH61変電所の設置。
- 70の出張診療所の設置。

人的資本とエネルギー

ルワンダ

状態：完了（2013 - 2014年）

当行による貢献（100%）：80万ドル

エネルギー・セクターにおける スキル開発

アフリカ開発銀行は、官民セクターの窓口を通じ、エネルギー生産、アクセス、手頃な価格、安定性の向上に貢献する「ルワンダ国家戦略（2012 - 2016年）」に技術支援を提供しました。すなわち、エネルギー・セクターにおける競争力及びエネルギーの生産、送配電に関する既存インフラの持続可能性を強化しました。2,500万ドルの民間セクター・シニアローンによって、キブエ地区のメタンガス抽出プラントの建設を支援しました。スキル不足に伴うリスクを明確にし、緩和策として、エネルギー部門のスキル開発のための一貫した持続可能な仕組みの確立につながりました。

成果：

- エネルギー（電気）を利用する顧客／世帯の比率を基準値から50%（2015/16）及び70%（2017/18）に増加。
- エネルギー部門及び関連部門（製造、建設、輸送）における新卒者の雇用の増加（2017年に200人、うち女性25%）により、サービス及び工業セクターに不可欠なスキルの可用性を向上。
- 水力発電と地熱発電のスキルと能力の統合強化。

人的資本と輸送

カーボベルデ

状態：継続中（2018 - 2021 年）

当行による貢献：1,787 万ドル（総費用の 50%）

ポルトインGRESとポルトパルメイラの近代化と拡張プロジェクト

海上輸送の発展は、マイオ島の観光業の潜在力を活用できずに苦しむカーボベルデにとって重要です。1,790 万ユーロのプロジェクトの成果により、商品・サービス輸出の 47%を占める観光産業の振興が期待されます。これにより港の通行量が増加し、通関時間が短縮され、コミュニティの生活条件が改善し、マイオ島での製品加工が増加します。また、このプロジェクトは、ブルーエコノミーの推進に関する現行の戦略及びパルメイラ港のマスタープランとも整合的なものです。

成果：

- 観光客受入に必要な外国語でのコミュニケーションを含め、少なくとも 150 人の若者に各種の事業トレーニングを供与。1,000 人（うち 50%は女性）を対象とした意識啓発の実施。
- 726 の直接雇用を創出または維持。
- GDP 成長率を約 7%押し上げ。
- 441 万 9,050 トンの商品が港を通過。
- 年間 152 万 7,098 人の観光客。

アフリカ開発銀行グループ

Communication and External Relations Department

Rue Joseph Anoma 01 BP 1387 Abidjan 01 (Côte d'Ivoire)

Tel: +225 20 26 16 42 • Fax +225 20 21 31 00 • Web: www.afdb.org

The High 5 for transforming Africa



アフリカの電化 食糧増産
工業化 地域統合
生活の質の向上



AFRICAN DEVELOPMENT BANK GROUP

Communication and External Relations Department
@2019